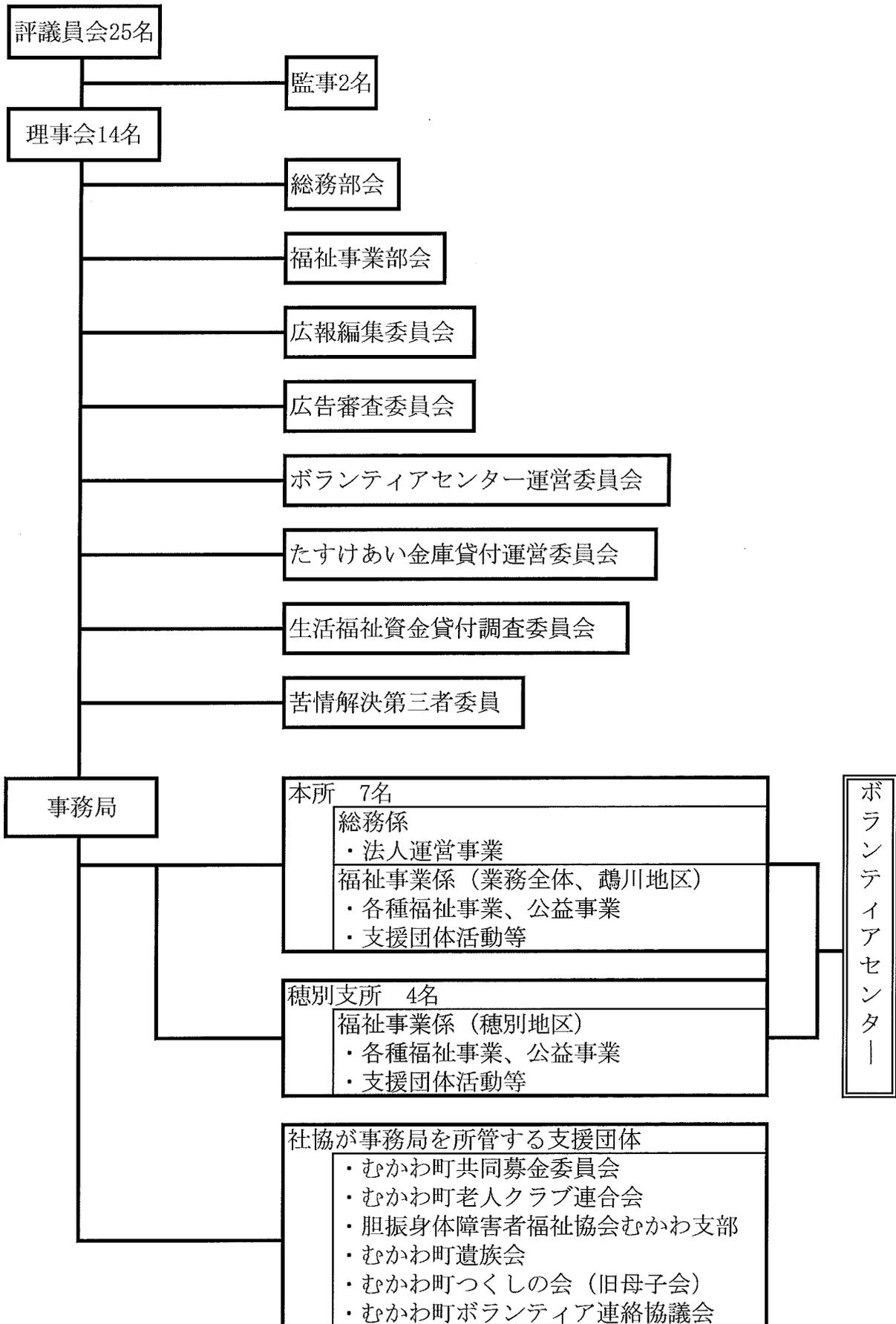


平成29年度

事業報告書

社会福祉法人 むかわ町社会福祉協議会

平成29年度 社会福祉法人むかわ町社会福祉協議会 組織図



平成29年度社会福祉法人むかわ町社会福祉協議会事業報告

平成29年度基本方針

地域社会や家族構成が大きく変化し、一人暮らし高齢者の増加、社会的孤立、貧困などを背景に、公的な制度や支援だけでは対応できない深刻な生活課題が顕在化しています。

むかわ町において検討している「地域包括ケアシステム」の構築に向けた取り組みでは、高齢者等要援護者の生活を地域全体で支える仕組み作りが求められます。社会福祉協議会は、生活支援の取り組み、シニア世代の社会参加促進、各種相談や地域活動を通じて、地域包括ケアを推進するための基盤づくりを強化します。また、日常生活自立支援事業など権利擁護の取り組みを中心として、地域における生活支援を展開し、地域住民と連携を図りながら、安心して暮らすことのできる地域づくりの取り組みを推進いたします。

『誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けたい』という願いを実現するために、関係機関、団体と協力し、住民との協働による福祉事業を推進し、住民への支援に努めてまいります。

社会福祉協議会は、社会福祉法に規定された「地域福祉を推進する中核的な団体」として、中期的な指針である「第5期地域福祉実践計画」に基づき事業を推進いたします。

〔概要〕

社会福祉を取り巻く状況は、少子高齢化の進行、人口減少社会の進展、家族や地域社会での支え合いの低下等により地域のなかでは社会的孤立、経済的困窮、権利侵害等の深刻な福祉課題が顕在化し、その対応が急務となっています。

また、熊本地震をはじめ地震・台風・豪雨など相次ぐ自然災害により、日常的に住民相互が支え合える地域づくりに向けて、管内並びに全道的なネットワークを生かした災害支援活動と体制整備も求められています。

さらに、社会福祉法人制度改革では経営組織のガバナンスの強化等の取組を求められていることから理事会・評議員会等の開催を通じて、事業の進捗及び経営の状況について認識を共有できる執行体制を確保しました。

認知症高齢者の権利侵害を予防するための仕組みとして成年後見制度や社協による「日常生活自立支援事業」では、高齢等によって判断能力が衰えても身近な地域で支援を受けることができるよう生活支援専門員及び生活支援員の増員等体制づくりに努めました。

このような中本会は、施策の方向性を改めて明らかにし、その実現を図ることを目的として、第5期地域福祉実践計画（平成29年度～平成33年度）の初年度として見直しを実施し、町民一人ひとりが安心して暮らせる福祉がある町を目指して、行政・民生委員・児童委員、社会福祉法人（施設）、ボランティア・町民活動団体など多様な関係機関・団体と連携を図りながら事業の実施に努めました。

3. 監事の監査及び報告状況

(1) 第1回監査（平成28年度 決算監査）

- ・ 実施～平成29年 5月12日 2名出席
- ・ 報告～平成28年 5月23日 第1回定例理事会

(2) 第2回監査（平成29年度 第1／四半期監査・助成団体監査）

- ・ 実施～平成29年 8月 8日 2名出席
- ・ 報告～平成29年 9月27日 第3回定例理事会

(3) 第3回監査（平成29年度 第2／四半期監査）

- ・ 実施～平成29年10月30日 2名出席
- ・ 報告～平成29年12月 1日 第4回定例理事会

(4) 第4回監査（平成29年度 第3／四半期監査）

- ・ 実施～平成30年 2月 2日 2名出席
- ・ 報告～平成30年 3月14日 第6回定例理事会

4. 部会及び委員会開催状況

(1) 総務部会

- ・ 実施～平成29年 6月26日6名
平成29年10月24日8名
平成30年 2月22日7名 延べ21名出席
- ・ 報告～総務部会委員の選任報告について等 延べ 5件
- ・ 議案～平成30年度事業計画、平成30年度資金収支予算について等 延べ 8件

(2) 福祉事業部会

- ・ 実施～平成29年 6月27日 9名
平成29年11月 1日 8名
平成30年 2月14日 6名 延べ23名出席
- ・ 報告～福祉事業部会委員の選任について等 延べ 3件
- ・ 議案～第5期地域福祉実践計画実績及び成果・課題について等 延べ 5件

(3) 広報編集委員会

- ・ 実施～平成29年 6月19日6名
平成30年 2月 7日5名 延べ11名出席
- ・ 報告～広報編集委員会の運営について等 延べ 2件
- ・ 議案～平成30年度広報誌の発行計画について等 延べ 3件

(4) たすけあい金庫貸付運営委員会

- ・ 実 施～平成29年 7月 3日4名
平成30年 2月23日4名 延べ 8名出席
- ・ 報 告～平成29年度たすけあい金庫貸付・償還状況について等 延べ 4件

(5) 生活福祉資金貸付調査委員会

- ・ 実 施～平成29年 7月 3日4名
平成30年 2月23日4名 延べ 8名出席
- ・ 報 告～平成29年度生活福祉資金貸付・償還状況について等 延べ 4件

(6) ボランティアセンター運営委員会

- ・ 実 施～平成28年 6月30日2名
平成28年12月20日3名 延べ 5名出席
- ・ 報 告～ボランティアセンターの運営について等 4件
- ・ 議 案～平成30年度ボランティア事業等について 1件

事業活動報告

計 画	実 績																				
<p>I 法人運営事業</p> <p>1. 本所・支所の組織の充実</p> <p>(1) 本所・支所の職員配置及び適正化に努める。</p> <p>(2) 職員の質の向上、能力向上の取り組みとして、資格習得を促進するとともに外部研修を中心に、職務に関する専門研修や階層別研修等への積極的参加を促す。</p> <p>(3) 職員倫理規定を遵守し職員会議等でコンプライアンスの理解を深める。</p> <p>(4) 職員間で事業前打ち合わせ、事業後の反省等を職員で（年4回）報告し、協議する。ミーティングは必要な都度開き計画の重要性に関する意識教育を徹底する。</p> <p>(5) 多様な住民の福祉ニーズに対応するため、「生活支援員」からの情報収集に努める。</p> <p>2. 法人財政基盤の促進</p> <p>(1) 地域福祉事業の貴重な財源であることを住民に周知し、会員確保に努めるとともに、会費の依頼方法等検討し、入会啓蒙活動を実施する。</p> <p>(2) 社協広報誌「ふくしだより」への企業等の有料広告掲載に係る周知及び啓蒙を役職員協力のもと実施する。</p> <p>(3) 行政等の事業受託、収益事業等への可能性の有無を模索する。</p> <p>(4) 公費の適正な財源確保を図る必要性について、むかわ町の理解と協力を積極的に働きかける。</p> <p>(5) 共同募金（赤い羽根募金・歳末たすけあい募金）は貴重な自主財源となることから、共同募金委員会と連携を図り、運動の啓蒙と募金の協力を行う。</p>	<p>正職員の配置換え等の見直しを実施。</p> <p>関係機関等の研修会に参加。社会福祉士等資格取得のための奨励を図り、職員の協力があつた。</p> <p>職員倫理規定の遵守を職員会議等で理解を深めた。</p> <p>職員会議を4回開催。ミーティングは適宜実施した。</p> <p>生活支援員から都度情報を聞き取り、関係機関との情報共有を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>29年度</th> <th>28年度</th> <th>比 較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般会費</td> <td>2,313,500</td> <td>2,310,100</td> <td>3,400</td> </tr> <tr> <td>特別会費</td> <td>483,000</td> <td>483,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>賛助会費</td> <td>268,000</td> <td>277,000</td> <td>△9,000</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>3,064,500</td> <td>3,070,100</td> <td>△5,600</td> </tr> </tbody> </table> <p>企業等への要請を実施したが、実績なし。 有料広告掲載募集をふくしだよりに1回掲載</p> <p>継続調査</p> <p>担当課と事前打ち合わせを行い、事業説明及び予算について理解と協力を得た。</p> <p>役員・職員も含め企業訪問及び街頭募金等積極的に啓蒙と募金協力を行った。</p>	区 分	29年度	28年度	比 較	一般会費	2,313,500	2,310,100	3,400	特別会費	483,000	483,000	0	賛助会費	268,000	277,000	△9,000	合 計	3,064,500	3,070,100	△5,600
区 分	29年度	28年度	比 較																		
一般会費	2,313,500	2,310,100	3,400																		
特別会費	483,000	483,000	0																		
賛助会費	268,000	277,000	△9,000																		
合 計	3,064,500	3,070,100	△5,600																		

計 画	実 績
<p>3. 社協事務所・福祉活動拠点施設の適切な利用</p> <p>本所、支所事務所は、むかわ町の理解のもと十分なスペースと明るい環境のもと、社協専用スペースとして高齢者や障がいのある方、ボランティア、協力員等誰もが気軽に立ち寄れる場所として適切に活用する。相談業務で、来所される方のプライバシー確保を図る環境整備に努める。また、福祉活動拠点として、住民の福祉活動拠点となる施設機能を持った「ボランティアセンター」「介護予防センター」「町民センター」等をサロン事業等で有効に利用する。</p> <p>4. サービスの質の向上の取り組み</p> <p>苦情があった場合には誠心誠意対応し、事情調査に取り組み、解決に向けて苦情解決システムの運用を図る。</p> <p>5. 地域福祉力を高める生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の配置</p> <p>社協の独自の役割と機能への理解と運営への支援を得るため、行政が策定する地域福祉計画や介護保険事業計画を鑑み、介護予防を含む住民主体による活動や支援体制の開発と生活支援等サービスの開発は一体的に行われる事が望ましく、生活支援等サービスが提供できる体制や基盤をつくる生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を配置する。</p> <p>6. 第5期地域福祉実践計画の取り組み</p> <p>第5期地域福祉実践計画の進捗状況や事業評価等を行い、適正な運用を図ります。社会・経済情勢の変化や社会福祉の動向などに対応するため、必要に応じて計画内容の見直しを福祉事業部会等で協議する。</p>	<p>常に整理整頓し、備品等の設置も考慮しながら来所者が気軽に立ち寄れる場所とした。相談支援等で来所された場合は空き状況により個室にて対処した。</p> <p>いきいきふれあいサロン事業等で「介護予防センター」並びに「町民センター」の会議室及びコミュニティールームを適切に利用した。</p> <p>苦情相談窓口体制を掲示し、対応した。苦情受付及び報告等の取扱実績0件。</p> <p>むかわ町担当課と連携を図り、協議体の参画、社協の役割、支援方法を協議した。</p> <p>職員1名（兼務）、嘱託職員1名（新規採用）の生活支援コーディネーターを配置。</p> <p>行政との協働の確立、医療・福祉、学校、その他の関係機関・団体・住民との「参画と協働」のネットワークづくりに努めた。毎月2回開催される地域ケア会議に出席し、高齢者等福祉対策及び介護予防事業の情報共有と意見交換を行った。</p> <p>福祉事業部会で現状把握とともに協議・評価見直しを行い総務部会及び理事会に報告した。</p>
<p>II. 広報・啓発事業</p> <p>1. ふくしだよりの発行、各種情報の提供</p> <p>ふくしだよりの（ボランティア情報誌を含む）を、年間6回発行、全戸配付する。</p> <p>(1) 社協概要を発行し、福祉関係機関などに配布する。</p> <p>(2) 地域活動を推進するため、各種情報を掲示板等で提供する。</p> <p>(3) ホームページを必要時に更新し、ボランティア活動など各種事業等の情報周知に努め、法人情報や地域福祉に対する理解と認識を高める。</p> <p>(4) 報道機関への積極的な事業周知及び報道依頼を展開する。</p>	<p>年6回（No.67～72）発行し、全戸に配付した。</p> <p>発行日 H29. 6. 1/ H29. 8. 1/ H29. 10. 1 H29. 12. 1/ H30. 2. 1/ H30. 4. 1</p> <p>平成29年7月に発行し配付した。</p> <p>各種情報を適宜掲示板等で提供した。</p> <p>内容等を更新しながら地域福祉に関連する社協事業を新着情報として発信した。</p> <p>社協事業の事前周知・事業実施の報道を積極的に依頼し、報道された。</p>

計 画	実 績																				
<p>Ⅲ. 地域福祉活動事業</p> <p>1. 地域ネットワーク事業の推進</p> <p>第25回ふれあい広場の実施</p> <p>地域住民が誰でも気軽に参加し、お年寄りや心身にハンディキャップのある方、児童や生徒と一緒に「ふれあい」の場をとおして、福祉活動に対する住民の理解をより深めるため、参加された方々が支え合い、人に優しい心の「わ」の広がり、今後の地域福祉活動の推進を図るためテーマは、『困った』を見すぎさない。共に支え合い・助け合い・しあわせのまちづくりを掲げ、四季の館「たんぼぼホール」をメイン会場として実行委員会を組織して屋内で開催する。</p> <p>2. たまり場の支援</p> <p>鶴川駅舎内を活用し地域で交流の場（みんなの茶店等）を設けることで、住民の地域への関心を深め、地域づくりを目指すボランティア支援を行う。</p> <p>3. 自治会（町内会）活動推進事業</p> <p>(1) 地域福祉活動推進奨励事業</p> <p>高齢化が急ピッチで進行し、ひとり暮らし高齢者の孤独死や介護疲れによる悲しい事件が起きるなど、さまざまな社会問題が発生している。「誰もが健康で安心して生活できる地域社会」にするには、地域（町内会・自治会）での高齢者や障がい者などを、地域が連帯して支えあう取り組みが急がれております。そこで、これらの活動を町内会・自治会に奨励し、地域ぐるみで福祉活動を推進するために、①見守り活動②日常生活支援事業③社会参加活動事業を実践した地区に活動費の一部を助成する。</p> <p>■実践活動</p> <p>1. 見守り活動</p> <p>対象：日常の生活や健康状態、非常時の対応が心配なひとり暮らしの高齢者等</p> <p>事例：声かけや定期的な訪問による話し相手などをしながら、安否の確認や健康上の変化を見守ることによって、事故を未然に防いだり、異常を発見します。</p>	<p>平成29年8月26日(土)に約650人参加のもと四季の館内で開催。ふれあい広場実行委員会が主体となり、テーマ『困った』を見すぎさない。共に支え合い・助け合い・しあわせのまちづくりとし、閉校になる富内小学校の子供達のステージ発表もあり、町内の園児の絵の展示や、小学生が教えるバルーンアートの体験ブース、じゃんけん大会など多くのボランティアが運営を支え、子供から大人まで幅広い楽しい交流の場となった。</p> <p>誰でも自由に立ち寄れる場所、お茶を飲みながら世間話ができる情報交換の場となる「サロン」の役割と「ボランティアの育成と活動の場」として146日開催し、1,141人利用。</p> <table border="1" data-bbox="895 1854 1437 2051"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th colspan="2">29 年度</th> <th colspan="2">28 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴川地区</td> <td>25 件</td> <td>185,000</td> <td>25 件</td> <td>180,000</td> </tr> <tr> <td>穂別地区</td> <td>11 件</td> <td>65,000</td> <td>10 件</td> <td>60,000</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>36 件</td> <td>250,000</td> <td>34 件</td> <td>240,000</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	29 年度		28 年度		鶴川地区	25 件	185,000	25 件	180,000	穂別地区	11 件	65,000	10 件	60,000	合 計	36 件	250,000	34 件	240,000
区 分	29 年度		28 年度																		
鶴川地区	25 件	185,000	25 件	180,000																	
穂別地区	11 件	65,000	10 件	60,000																	
合 計	36 件	250,000	34 件	240,000																	

計 画	実 績																							
<p>(1)介護予防事業（元気高齢者づくり） 生きがい活動、花いっぱい運動、スポーツレク大会、サロン活動・健康教育、料理教室、昼食会、昔の遊び・輪投げ・パッチなど</p> <p>(2)世代間交流事業 高齢者と子供・婦人の集い、高齢者の能力を引き出す事業、体験学習など</p> <p>(3)自治会(町内会)行事への連れ出し 運動会、パークゴルフ大会、各種レク大会、生きがい健康まつり、花見会・リサイクル活動・研修会・温泉旅行など</p> <p>助成：参加者1人につき200円、2万円を限度とする。 ※他から助成される事業は、対象外とする。 ※1自治会2事業を限度とする。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th colspan="2">29年度</th> <th colspan="2">28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴川地区</td> <td>17件</td> <td>149,400</td> <td>18件</td> <td>153,400</td> </tr> <tr> <td>穂別地区</td> <td>0件</td> <td>—</td> <td>0件</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>17件</td> <td>149,400</td> <td>18件</td> <td>153,400</td> </tr> </tbody> </table>				区 分	29年度		28年度		鶴川地区	17件	149,400	18件	153,400	穂別地区	0件	—	0件	—	合 計	17件	149,400	18件	153,400
区 分	29年度		28年度																					
鶴川地区	17件	149,400	18件	153,400																				
穂別地区	0件	—	0件	—																				
合 計	17件	149,400	18件	153,400																				
<p>(2)福祉委員活動の推進 町内各地域において福祉に関する問題や要望を発見し、助け合い活動を展開して地域の人たちと共に福祉のまちづくりを進める「地域福祉活動家」である福祉委員を配置するとともに、福祉の啓発活動、ふれあい活動、たすけあい活動、社協事業等の協力など具体的に推進するために、自治会・町内会長の協力を得て情報交換の場や新任者のための研修を実施する。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th colspan="2">29年度</th> <th colspan="2">28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴川地区</td> <td>12件</td> <td>106,800</td> <td>13件</td> <td>106,400</td> </tr> <tr> <td>穂別地区</td> <td>4件</td> <td>25,000</td> <td>5件</td> <td>29,000</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>16件</td> <td>131,800</td> <td>18件</td> <td>135,400</td> </tr> </tbody> </table> <p>福祉委員75名の委嘱 期間 平成32年3月31日まで（3年） 研修会：平成29年10月6日（金）／両地区 ・四季の館たんぼぼホール参加者／51名 ・地域支え合い研修／福祉委員研修（合同） ・「地域たすけあいボランティア事業について」 ・講師：長谷川 美幸 氏 洞爺湖町社会福祉協議会 地域福祉主任</p>				区 分	29年度		28年度		鶴川地区	12件	106,800	13件	106,400	穂別地区	4件	25,000	5件	29,000	合 計	16件	131,800	18件	135,400
区 分	29年度		28年度																					
鶴川地区	12件	106,800	13件	106,400																				
穂別地区	4件	25,000	5件	29,000																				
合 計	16件	131,800	18件	135,400																				
<p>4. 福祉活動車両及び福祉機器・備品の貸付事業</p> <p>(1) リフト付ワゴン車を整備し、地域福祉活動を実践する地域・団体に、福祉活動車両として貸付ける。</p> <p>(2) 車イスや歩行器など福祉機器を無償で貸与する。</p> <p>(3) 行食用テント、遊具などの備品を無償で貸与する。</p>	<p>・問い合わせ1件／実績1件。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>29年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車椅子</td> <td>39件</td> <td>32件</td> </tr> <tr> <td>歩行器</td> <td>8件</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>簡易トイレ</td> <td>8件</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>行食用テント</td> <td>14件(81張)</td> <td>17件(80張)</td> </tr> </tbody> </table>				区 分	29年度	28年度	車椅子	39件	32件	歩行器	8件	5件	簡易トイレ	8件	5件	行食用テント	14件(81張)	17件(80張)					
区 分	29年度	28年度																						
車椅子	39件	32件																						
歩行器	8件	5件																						
簡易トイレ	8件	5件																						
行食用テント	14件(81張)	17件(80張)																						
<p>5. 生活改善合理化普及奨励事業及び葬祭協力</p> <p>(1) 生活改善合理化による虚礼廃止を奨励し、慶弔用ハガキを作成し提供する。</p> <p>(2) 会員加入自治会・町内会が主体で行われる葬祭に協力する。</p>	<p>葬儀・見舞い返し用葉書を印刷し提供した。 29年度 39件 13,750枚 28年度 34件 11,550枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>29年度</th> <th>28年度</th> <th>比 較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴川地区</td> <td>3件</td> <td>4件</td> <td>△1件</td> </tr> <tr> <td>穂別地区</td> <td>1件</td> <td>2件</td> <td>△1件</td> </tr> </tbody> </table>				区 分	29年度	28年度	比 較	鶴川地区	3件	4件	△1件	穂別地区	1件	2件	△1件								
区 分	29年度	28年度	比 較																					
鶴川地区	3件	4件	△1件																					
穂別地区	1件	2件	△1件																					

計 画	実 績			
(3) 町民の弔慰に対して、故人への追悼と敬意を表するため、レタックスにより弔慰文を送付する。	区 分	29年度	28年度	比 較
6. 福祉団体助成事業	件 数	106件	92件	14件
(1) 民生児童委員協議会・遺族会への活動費の助成と支援を行う。	民生児童委員協議会 76,000円助成			
(2) 自治会婦人部連絡協議会への活動費の助成を行う。	遺族会 173,000円助成			
7. 高齢者福祉活動事業	穂別自治会婦人部連絡協議会 23,000円助成			
(1) 老人クラブ連合会事業への支援	老連主催：ふれあいスポーツ大会			
スポーツ大会、演芸発表会、研修及び交流事業などの実施、ボランティア活動を通じて社会参加する等、健康の増進とふれあいの機会を拡充するとともに、生きがいをもって生活できるよう支援する。	・7月21日(金)町民体育館228名(鶴川)			
	・7月28日(金)スポーツセンター114名(穂別)			
	・パークゴルフ大会 6月15日(木)			
	穂別森林組合			
	・ゲートボール・ペタンク交流会支援			
	8月31日(木)屋内ゲートボール場44名			
	・演芸発表会：11月17日(金)231名			
(2) いきいきふれあいサロンの推進	区 分	29年度	28年度	比 較
65歳以上でデイサービスに通っていない、外出の機会の少なくなった高齢者を対象に、毎月ないし隔月に軽い体操やレクリエーション、そして昼食を共にしながら憩い場、孤独感の解消、心身の健康維持増進等交流の場づくり事業として実施する。町の「あった〇事業」の対象でスタンプカードを交付された方に社協のスタンプを押し支援する。	鶴川地区	809名	804名	5名
	穂別地区	201名	287名	△86名
	合 計	1,010名	1,091名	△81名
(3) 男の料理教室の推進	区 分	29年度	28年度	比 較
60歳以上の男性を対象に料理の基礎技術等を習得し、日常生活において栄養バランスの良い食事を心がけることにより、生活環境の改善、増進を図り、健康、福祉に繋げる。	鶴川地区	7名	7名	—
(4) 地区敬老会などへの祝い品の贈呈	穂別地区	4名	5名	△1名
地区敬老会や施設の敬老会に参加し、長寿を祝い祝い品の贈呈をする。	区 分	29年度	28年度	
8. 障がい者福祉活動事業	鶴川地区	1件	1件	
身障者福祉協会むかわ支部に活動費を助成し、胆振東部4町支部研修交流会の開催地として、支援する。	穂別地区	12件	12件	
9. 児童・青少年福祉活動事業	身障者福祉協会むかわ支部 326,000円助成			
(1) 子供会連絡協議会に、活動費を助成し支援する。	10月12日4町支部研修交流会開催支援			
(2) 児童生徒健全育成事業(親子バス遠足)	子供会育成連絡協議会 76,000円助成			
ひとり親・障がい児のいる世帯等の青少年が、集団生活の中で仲間に対して思いやりのある心を育て、交流及び研修を深めることを目的とする。	児童生徒健全育成事業(親子バス遠足)			
	・平成29年8月6日(日)			
	・登別マリンパークニクス(登別市)			
	・16世帯54名参加			
10. 母子・父子福祉活動事業	つくしの会 146,000円助成			
(1) つくしの会(母子会)に、活動費を助成し、胆振地区母子寡婦福祉研修交流会の開催地として、支援する。	7月2日福祉研修交流会開催支援			
(2) 低所得世帯のひとり親家庭の小学校及び中学校修学旅行児童及び生徒に支度金として助成する	区 分	29年度	28年度	増減
	小学校	7件 70,000	3件 30,000	4件増
	中学校	1件 10,000	2件 20,000	1件減
	合 計	8件 80,000	5件 50,000	3件増

計 画	実 績																									
(3) 低所得世帯のひとり親家庭の小学校入学児童及び中学校卒業生徒に支度金として助成する。 (4) 低所得世帯でひとり親家庭の児童に対して、小学校入学時に希望があればランドセル（赤又は水色限定）を贈呈する。	区 分	29 年度		28 年度		増減																				
	小学校	2件	20,000	1件	10,000	1件増																				
	中学校	4件	40,000	2件	20,000	2件増																				
	合 計	6件	60,000	3件	30,000	3件増																				
	ランドセル贈呈	1件		0件		1件増																				
IV. 在宅福祉サービス事業																										
1. 受託事業																										
(1) 外出支援サービス事業																										
公共交通機関を使用できない高齢者等に、町内の病院や入浴等送迎サービスを実施する。																										
(2) 配食サービス事業																										
地域の独居高齢者や、高齢者夫婦世帯等を対象にボランティアによる見守り活動を含めた配食活動を実施する。																										
2. 生活支援事業																										
(1) 高齢者等生活支援事業																										
制度の狭間にある多様な福祉ニーズに弾力的に対応するため、社協の独自事業として次の事業を実施する。																										
ア. おでかけ支援事業																										
在宅の独居及び老夫婦等で、とじこもりがちな高齢者等に対し、お楽しみ行事、買い物、交流会、ドライブ、温泉入浴等へのおでかけを支援する事業																										
イ. 独居老人等窓ビニール張り事業																										
老朽住宅に居住する在宅高齢者等で、窓にビニールを張ることによって、少しでも暖かい生活ができるよう支援する事業																										
ウ. 災害見舞金の支給事業																										
火災、風水害等により、家屋等が使用に耐えない程に焼失、流失、崩壊した町民に、見舞金を支給する。																										
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区 分</th> <th style="text-align: center;">29 年度</th> <th style="text-align: center;">28 年度</th> <th style="text-align: center;">比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">外出支援</td> <td style="text-align: center;">延 3,055 回</td> <td style="text-align: center;">延 3,110 回</td> <td style="text-align: center;">△55 回</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">入浴送迎</td> <td style="text-align: center;">延 468 回</td> <td style="text-align: center;">延 182 回</td> <td style="text-align: center;">286 回</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">路線廃止</td> <td style="text-align: center;">延 189 回</td> <td style="text-align: center;">延 208 回</td> <td style="text-align: center;">△19 回</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">延 3,712 回</td> <td style="text-align: center;">延 3,500 回</td> <td style="text-align: center;">212 回</td> </tr> </tbody> </table>							区 分	29 年度	28 年度	比較	外出支援	延 3,055 回	延 3,110 回	△55 回	入浴送迎	延 468 回	延 182 回	286 回	路線廃止	延 189 回	延 208 回	△19 回	合 計	延 3,712 回	延 3,500 回	212 回
区 分	29 年度	28 年度	比較																							
外出支援	延 3,055 回	延 3,110 回	△55 回																							
入浴送迎	延 468 回	延 182 回	286 回																							
路線廃止	延 189 回	延 208 回	△19 回																							
合 計	延 3,712 回	延 3,500 回	212 回																							
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区 分</th> <th style="text-align: center;">29 年度</th> <th style="text-align: center;">28 年度</th> <th style="text-align: center;">比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">鶴川地区</td> <td style="text-align: center;">3,554 食</td> <td style="text-align: center;">3,606 食</td> <td style="text-align: center;">△52</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">穂別地区</td> <td style="text-align: center;">1,070 食</td> <td style="text-align: center;">934 食</td> <td style="text-align: center;">136</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">4,624 食</td> <td style="text-align: center;">4,540 食</td> <td style="text-align: center;">84</td> </tr> </tbody> </table>							区 分	29 年度	28 年度	比較	鶴川地区	3,554 食	3,606 食	△52	穂別地区	1,070 食	934 食	136	合 計	4,624 食	4,540 食	84				
区 分	29 年度	28 年度	比較																							
鶴川地区	3,554 食	3,606 食	△52																							
穂別地区	1,070 食	934 食	136																							
合 計	4,624 食	4,540 食	84																							
町外おでかけ 各地区 2 回実施																										
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区 分</th> <th style="text-align: center;">29 年度</th> <th style="text-align: center;">28 年度</th> <th style="text-align: center;">比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">鶴川地区</td> <td style="text-align: center;">53 名</td> <td style="text-align: center;">77 名</td> <td style="text-align: center;">△24 名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">穂別地区</td> <td style="text-align: center;">53 名</td> <td style="text-align: center;">64 名</td> <td style="text-align: center;">△11 名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">106 名</td> <td style="text-align: center;">141 名</td> <td style="text-align: center;">△35 名</td> </tr> </tbody> </table>							区 分	29 年度	28 年度	比較	鶴川地区	53 名	77 名	△24 名	穂別地区	53 名	64 名	△11 名	合 計	106 名	141 名	△35 名				
区 分	29 年度	28 年度	比較																							
鶴川地区	53 名	77 名	△24 名																							
穂別地区	53 名	64 名	△11 名																							
合 計	106 名	141 名	△35 名																							
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区 分</th> <th style="text-align: center;">29 年度</th> <th style="text-align: center;">28 年度</th> <th style="text-align: center;">比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">鶴川地区</td> <td style="text-align: center;">1 件</td> <td style="text-align: center;">2 件</td> <td style="text-align: center;">△1 件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">穂別地区</td> <td style="text-align: center;">9 件</td> <td style="text-align: center;">9 件</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">10 件</td> <td style="text-align: center;">11 件</td> <td style="text-align: center;">△1 件</td> </tr> </tbody> </table>							区 分	29 年度	28 年度	比較	鶴川地区	1 件	2 件	△1 件	穂別地区	9 件	9 件	—	合 計	10 件	11 件	△1 件				
区 分	29 年度	28 年度	比較																							
鶴川地区	1 件	2 件	△1 件																							
穂別地区	9 件	9 件	—																							
合 計	10 件	11 件	△1 件																							
1 件																										

計 画	実 績																											
<p>(2) 日常生活自立支援事業の推進 認知症や障がい等により判断能力が不十分な方に対して、福祉サービス利用の援助、日常的な金銭管理等を行い、在宅での自立した生活を支援する。また、事業周知を図り専門員及び生活支援員と連携を密に推進する。</p> <p>(3) 長寿祝い金贈呈事業 満100歳に達した長寿者に長寿祝い金を贈呈する</p> <p>(4) 歳末たすけあい助成事業</p> <p>① 歳末見舞金（品）を支給（贈呈）する。</p> <p>② おせち料理を配食する。</p> <p>③ 地域福祉サービス事業 ア. 独居高齢者世帯等ビニール張り（再掲） 老朽住宅に居住する在宅高齢者等で、窓にビニールを張ることによって、少しでも暖かい生活ができるよう支援する。</p>	<p>前年度からの継続契約件数 1件 今年度新規契約件数 1件 解約件数 1件 次年度継続契約 1件 相談件数 3件 指揮監督者・生活支援専門員（職員兼務） 生活支援専門員：本所1名・支所1名配置 生活支援員：登録5名</p> <table border="1" data-bbox="898 672 1441 869"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>29 年度</th> <th>28 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴川地区</td> <td>4 件</td> <td>2 件</td> </tr> <tr> <td>穂別地区</td> <td>0 件</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>4 件</td> <td>3 件</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="898 907 1453 1066"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th colspan="2">29 年度</th> <th colspan="2">28 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳末見舞金</td> <td>17 件 21 名</td> <td>275,000</td> <td>17 件 22 名</td> <td>280,000</td> </tr> <tr> <td>おせち料理</td> <td>23 件 28 食</td> <td>61,600</td> <td>20 件 25 食</td> <td>55,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>10件（再掲）</p>	区 分	29 年度	28 年度	鶴川地区	4 件	2 件	穂別地区	0 件	1 件	合 計	4 件	3 件	区 分	29 年度		28 年度		歳末見舞金	17 件 21 名	275,000	17 件 22 名	280,000	おせち料理	23 件 28 食	61,600	20 件 25 食	55,000
区 分	29 年度	28 年度																										
鶴川地区	4 件	2 件																										
穂別地区	0 件	1 件																										
合 計	4 件	3 件																										
区 分	29 年度		28 年度																									
歳末見舞金	17 件 21 名	275,000	17 件 22 名	280,000																								
おせち料理	23 件 28 食	61,600	20 件 25 食	55,000																								

計 画	実 績																								
<p>イ. 家事援助サービス利用券配付事業</p> <p>自力で家事を行うことが困難な高齢者等に「家事援助サービス利用券」を配付して、家事援助を行う。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>29年度</th> <th>28年度</th> <th>比 較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象自治会</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>対象世帯数</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	29年度	28年度	比 較	対象自治会	5	5	—	対象世帯数	8	7	—												
区 分	29年度	28年度	比 較																						
対象自治会	5	5	—																						
対象世帯数	8	7	—																						
<p>V. ボランティア活動事業</p>																									
<p>1. ボランティアセンター機能の充実</p>																									
<p>すべての住民が、自発的に福祉活動に参加できるまちづくりの推進のため、誰もがいつでもどこでも気軽に参加できる環境や機会の提供、活動に関する相談、助言、支援、斡旋を行う。さらに、活動の拠点となるボランティアセンター機能の充実を図る。</p>	<p>ボランティアコーディネーターを本所、支所に各1名配置し、情報発信等に努めた。</p>																								
<p>① ボランティアセンター運営委員会を中心とし、ボランティアや会員並びに関係機関に沿った事業運営を図る。</p>	<p>いきいきふれあいサロン等の個人ボランティア活動の調整に努めた。</p>																								
<p>② ボランティア登録の募集・受付等から利用者の希望に応えられるよう調整に努める。</p>	<p>30件／延べ83名</p>																								
<p>③ ボランティア団体の紹介・募集などを行い、ボランティア活動に対する理解と関心を高める。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th colspan="2">29年度</th> <th colspan="2">28年度</th> <th>比 較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団 体</td> <td>15</td> <td>1,970名</td> <td>14</td> <td>2,027名</td> <td>△57名</td> </tr> <tr> <td>個 人</td> <td>—</td> <td>92名</td> <td>—</td> <td>80名</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>15</td> <td>2,062名</td> <td>14</td> <td>2,107名</td> <td>△45名</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	29年度		28年度		比 較	団 体	15	1,970名	14	2,027名	△57名	個 人	—	92名	—	80名	12名	合 計	15	2,062名	14	2,107名	△45名
区 分	29年度		28年度		比 較																				
団 体	15	1,970名	14	2,027名	△57名																				
個 人	—	92名	—	80名	12名																				
合 計	15	2,062名	14	2,107名	△45名																				
<p>④ ボランティアセンター備品を整理し、広く貸し出しを行う。</p>	<p>サロン事業等で活用できる遊具などを整備し、一般貸出しの情報提供に努めた。</p>																								
<p>2. ボランティア活動事業の推進</p>																									
<p>(1) ボランティア団体の強化育成</p>																									
<p>各種団体活動の推進のため助言・協力し、一部経費の助成をする。</p>	<p>ボランティアさつき会 21,000円助成 ボランティア連絡協議会 88,000円助成</p>																								

計 画	実 績																							
<p>(2) ボランティア養成研修及び活動研修会の実施 ボランティア活動を実践している活動者やボランティア活動②興味関心を持つ地域住民に対し、研修の機会を設け、ボランティアの底上げを目指すとともに各種ボランティア事業への参加、実践者を育てまた、学童、生徒のボランティア活動を町民に報告し活動の幅を広げる研修会を実施する。</p>	<p>○養成研修 平成29年7月12日(水) ・穂別町民センター ・参加者 26名 ・「認知症を学び地域で支えよう」～久木 信義 氏 愛誠会 本部事務局次長兼愛誠園業務管理課長 ○町の未来を考えるセミナー ・穂別町民センター ・参加者 45名 ・「今後の地域福祉のあり方」～ 教授 岡田 直人 氏 北星学園大学 社会福祉学部 福祉計画学科長</p>																							
<p>(3) 福祉教育推進事業 町内の学校及び関係機関と協働し、町民がボランティア活動等を通して地域に関わることのできる機会を設け、福祉教育を促進できる環境を整える。</p>	<p>各学校のボランティア同好会の活動状況を把握し、事業の周知方法及び新たな企画を模索した。</p>																							
<p>(4) ボランティアアドバイザーなどの実践活動の実施 (なかよし広場) 「ボランティアアドバイザー研修」及び「ボランティア養成研修」を終え、実際に実践できる場を提供し、今後のボランティア活動の一層の振興を図るため、鶺川地区は町内の拠点施設を利用し6地区で、穂別地区は4地区でなかよし広場を実施する。 町の「あった○事業」の対象事業として支援する。</p>	<table border="1" data-bbox="895 931 1453 1178"> <thead> <tr> <th></th> <th>区 分</th> <th>29年度</th> <th>28年度</th> <th>比 較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">鶺川</td> <td>開催場所</td> <td>6箇所</td> <td>6箇所</td> <td>——</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>132名</td> <td>176名</td> <td>△44名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">穂別</td> <td>開催場所</td> <td>2箇所</td> <td>2箇所</td> <td>——</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>34名</td> <td>32名</td> <td>2名</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	29年度	28年度	比 較	鶺川	開催場所	6箇所	6箇所	——	参加者数	132名	176名	△44名	穂別	開催場所	2箇所	2箇所	——	参加者数	34名	32名	2名
	区 分	29年度	28年度	比 較																				
鶺川	開催場所	6箇所	6箇所	——																				
	参加者数	132名	176名	△44名																				
穂別	開催場所	2箇所	2箇所	——																				
	参加者数	34名	32名	2名																				
<p>(5) ボランティア研修・交流会事業への参加 管内で行われるボランティアばんざい in 胆振や町内ボランティア研修などボランティア活動の担い手づくりの取り組みを積極的に行う。</p>	<p>○平成29年度ボランティアばんざい in 胆振 実施日：平成29年10月11日 ・登別市民会館「全盲の旅するカメラマン」 ・参加者9名 ○ボランティア視察研修(仁木町社協など) 実施日：平成29年7月4日(火) ・参加者17名</p>																							
<p>(6) ボランティア実践者の保険加入促進 活動中の事故に備え、実践者の保険加入を促進する。</p>	<table border="1" data-bbox="895 1704 1437 1805"> <thead> <tr> <th></th> <th>29年度</th> <th>28年度</th> <th>比 較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加入数</td> <td>289名</td> <td>290名</td> <td>△1名</td> </tr> </tbody> </table>		29年度	28年度	比 較	加入数	289名	290名	△1名															
	29年度	28年度	比 較																					
加入数	289名	290名	△1名																					
<p>(7) 学童・生徒ボランティア活動普及指定校に、活動費を助成する。</p>	<p>指定校に鶺川中央小学校、穂別小学校とし、各5万円を助成。</p>																							

計 画	実 績																									
<p>(8) リサイクル活動事業（収集ボランティア）の推進 リングプル、古切手、書き損じハガキ、使用済みテレホンカード回収等のリサイクル活動を奨励する。</p>	<p>プルタブ、古切手等のリサイクル活動を推進した。</p> <table border="1" data-bbox="890 309 1473 533"> <thead> <tr> <th>主な預託物品</th> <th colspan="2">29 年度</th> <th colspan="2">28 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プルタブ</td> <td>89 件</td> <td>295,824kg</td> <td>94 件</td> <td>243,265kg</td> </tr> <tr> <td>古切手</td> <td>48 件</td> <td>35,161 枚</td> <td>63 件</td> <td>30,768 枚</td> </tr> <tr> <td>ハガキ</td> <td>8 件</td> <td>81 枚</td> <td>12 件</td> <td>440 枚</td> </tr> <tr> <td>カード</td> <td>3 件</td> <td>53 枚</td> <td>9 件</td> <td>112 枚</td> </tr> </tbody> </table>	主な預託物品	29 年度		28 年度		プルタブ	89 件	295,824kg	94 件	243,265kg	古切手	48 件	35,161 枚	63 件	30,768 枚	ハガキ	8 件	81 枚	12 件	440 枚	カード	3 件	53 枚	9 件	112 枚
主な預託物品	29 年度		28 年度																							
プルタブ	89 件	295,824kg	94 件	243,265kg																						
古切手	48 件	35,161 枚	63 件	30,768 枚																						
ハガキ	8 件	81 枚	12 件	440 枚																						
カード	3 件	53 枚	9 件	112 枚																						
<h3>VI. 生活福祉資金・たすけあい金庫貸付事業</h3>																										
<p>(1) 町内に在住する生活困窮者などに対し、その世帯の援護、自立更正、療養、住宅等の福祉資金の貸付事業を行う。（道社協が実施主体、市町村社協が窓口）</p>	<p>前年度からの継続貸付 4 件 償還が完了した貸付 0 件 次年度への継続貸付 4 件</p>																									
<p>(2) 失業や減収で生活が困窮し、日常生活の維持が困難となっている低所得世帯の生活支援、住居確保、生活立て直しなどの資金として、総合支援資金の貸付事業を行う。（道社協が実施主体、市町村社協が窓口）</p>	<p>なし</p>																									
<p>(3) 高等学校、大学等へ入学又は、就学する低所得世帯に対して教育支援資金の貸付事業を行う。 （道社協が実施主体、市町村社協が窓口）</p>	<p>前年度からの継続貸付 3 件 本年度の新規貸付 1 件 次年度への継続貸付 4 件</p>																									
<p>(4) 住宅用資産を有するものの、現金収入が少なく生計の維持が困難である高齢者に対して、不動産担保型生活資金の貸付事業を行う。 （道社協が実施主体、市町村が窓口）</p>	<p>実績なし</p>																									
<p>(5) 生活困窮者に対して、応急生活資金、応急医療費などの生活つなぎ資金として、たすけあい金庫貸付事業を行う。（むかわ町社協が実施主体）</p>	<table border="1" data-bbox="890 1518 1453 1742"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>29 年度</th> <th>28 年度</th> <th>比 較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前年度からの継続貸付</td> <td>4 件</td> <td>6 件</td> <td>△2 件</td> </tr> <tr> <td>本年度の新規貸付</td> <td>3 件</td> <td>3 件</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>償還が完了した貸付</td> <td>3 件</td> <td>5 件</td> <td>△2 件</td> </tr> <tr> <td>次年度への継続貸付</td> <td>4 件</td> <td>4 件</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	29 年度	28 年度	比 較	前年度からの継続貸付	4 件	6 件	△2 件	本年度の新規貸付	3 件	3 件	—	償還が完了した貸付	3 件	5 件	△2 件	次年度への継続貸付	4 件	4 件	—					
区 分	29 年度	28 年度	比 較																							
前年度からの継続貸付	4 件	6 件	△2 件																							
本年度の新規貸付	3 件	3 件	—																							
償還が完了した貸付	3 件	5 件	△2 件																							
次年度への継続貸付	4 件	4 件	—																							
<h3>VII. 心配ごと相談事業</h3> <p>心配ごと相談所を設置し、または民生児童委員の協力により、住民の日常生活上のいろいろな相談に気安く応じ、親身になって適切な助言を行い、あるいは解決に努める。また、行政からの要請を受け「行政相談週間」に心配ごと相談員として職員の派遣を行う。</p>	<p>随時相談を受付け、解決に努めた。 平成 29 年 10 月 20 日実施の一日合同行政相談所開設に伴い心配ごと相談員として参加。</p>																									